

【大須浜祭り × LIGHT UP NIPPON】 報告書 2015.8.11

NPO法人健康づくり推進機構B T B

「大須浜祭り ×LIGHT UP NIPPON」無事、終了しました。このような機会をいただき、ありがとうございました。

大須浜祭りは、今年で3年目。15年前に消えた祭りは、若者の手で復活を果たしました。東日本大震災における雄勝町内の犠牲者236名の供養と、雄勝の人々を育ててくれた海への感謝の気持ち、故郷への想いを忘れないように、そして一歩ずつ前を進むことへの強い思いが詰まった祭りです。

当日は、夕方より雨という予報でしたが、晴れ男、晴れ女が集合し、LIGHT UP NIPPONの協力のもと、約1000発の花火が雄勝の夜空を照らしました。



全国より支援金が集まり、灯籠流しが復活しました。



朝の8時から、地元の漁師さんと祭りの準備。方言が飛び交う中、B T Bも汗をぬぐいながらお手伝い。ご褒美に採れたての雲丹をご馳走していただきました。



B T Bはステージで健康体操を担当しました。おじいちゃん、おばあちゃん、漁師さん、奥さん、子どもたち・・・365歩のマーチに合わせた動きで、笑顔いっぱいの時間になりました。



ホタテ釣りのブースが大盛況。B T Bも助っ人に入り、軍手をはめ、釣れたホタテを次々と焼きました。子どもたちは釣りが上手、あっという間に網がいっぱいになりました。



月命日の11日14時46分に浜で黙祷をし、震災で犠牲になった方の供養と、私達を育ててくれている海への感謝を込めてご詠歌が歌われ、灯籠流しがおこなわれました。



空を見上げ、大きな美しい花火を見ながらはしゃぐ子どもたち。そして、それぞれの想いを胸に、亡くなった多くの人々への鎮魂と復興への願いを込める時間となりました。



翌日の河北新報朝刊一面に、「大須浜祭り ×LIGHT UP NIPPON」がUPされました。岩手、宮城、福島3県10ヶ所で打ち上げられた花火。震災から4年5ヶ月の夜空に光の花が咲きました。

LIGHT UP NIPPONの花火、灯籠流しの支援金、そしてB T Bの活動も、健康チャリティーイベント支援、あらゆる地域からの色々な形での応援が集まり活動できています。